

植栽カード： 植栽プランナーのための樹木・草花基礎データ

C 常緑樹

025 シマトネリコ

モクセイ 科

仲間

分布 亜熱帯の山地

植栽ガイド

明るい緑の葉が魅力の常緑樹。都市部でよく利用される人気の樹。配慮したいことは、亜熱帯原産の外来種であること、そのため、既存の生態系に寄与しないことなど考慮し慎重に選定したい。

特性

雌雄別株で夏を過ぎると雌株は房状に翼果をつける。亜熱帯原産のため、寒風や積雪により芽や葉が凍害を受けることがある。

配植ポイント

高木が入手できることから、5m以上の高木も移植されている。マンションなど大規模建築に合わせやすい。成長が速いので、剪定し樹形を整える。萌芽力があり手入れは容易。幼樹を数本寄せ仕上げた株立(寄株)は、シンボルツリーや独立樹としても利用されている。

形態	
高木 (H>5m程度)	○
中木 (1.5~3m程度)	○
低木 (H<2m程度)	
灌木 (主幹がない)	
地被	
蔓性	
草本 (多くは多年草)	
常緑樹	○
落葉樹	
半落葉 (※は寒冷地で落葉)	
針葉樹	
広葉樹	○
雌雄別	別
在来種	
外来種	○
園芸種	



流通	
流通	○
流通時期 (主に草本類の入手可能月)	
流通規格	
樹高(m)	2.5~5.0
葉張(m)	1.0~1.8
ポット寸法	

(上)株立仕立てのシマトネリコ / (中上)新梢の展開、冬芽は芽鱗がなく裸芽 / (中下)株立の根元 / (右上)雌株には翼果をたくさんつけるため、葉が枯れているように見間違えられることがある

開花時期 5~6月

花色 ○

Topics

亜熱帯原産の樹で、観賞植物として利用されていたが、耐寒性があり戸外でも植えられるようになった。しかし、外来種の移入については世界的に制限する傾向にある。南アフリカでは、南米産のジャカランダなどの外来種を排除する機運にある。できるなら在来種を基本に配植したい。既存の生態系にも寄与することになる。

用語解説

■生態系:ある地域のすべての生物の相互関係。

植付目安	
ポット苗はパレット換算にて 2~2.5パレット/m ² 程度	
・灌木、草本寄植株数の目安	
・パレットは販売時のケース	

主な配植	
シンボルツリー	○ ○ ○ ○ ○
主幹木	○ ○ ○ ○ ○
副幹木	○ ○ ○ ○ ○
添木	○ ○ ○ ○ ○
独木	○ ○ ○ ○ ○
生垣	○ ○ ○ ○ ○
寄木	○ ○ ○ ○ ○
刈込	○ ○ ○ ○ ○
グランドカバー	○ ○ ○ ○ ○

観賞ポイント	
樹形	○ ○ ○ ○ ○
花	○ ○ ○ ○ ○
香	○ ○ ○ ○ ○
果	○ ○ ○ ○ ○
葉	○ ○ ○ ○ ○
実	○ ○ ○ ○ ○
芽	○ ○ ○ ○ ○

配植可能地域	
九州	○ ○ ○ ○ ○
関東	○ ○ ○ ○ ○
東北	○ ○ ○ ○ ○
北海道	○ ○ ○ ○ ○
南	○ ○ ○ ○ ○
北	○ ○ ○ ○ ○

日照	
陽	○ ○ ○ ○ ○
中陰	○ ○ ○ ○ ○
陰	○ ○ ○ ○ ○

乾湿	
乾	○ ○ ○ ○ ○
普通	○ ○ ○ ○ ○
湿	○ ○ ○ ○ ○
通	○ ○ ○ ○ ○
潤	○ ○ ○ ○ ○

耐性	
耐寒	弱
耐暑	強
耐乾	強
耐潮	強
耐煙	強

病虫害	
病	○ ○ ○ ○ ○
虫	○ ○ ○ ○ ○
害	○ ○ ○ ○ ○
害	○ ○ ○ ○ ○
強	○ ○ ○ ○ ○

移植	
難	○ ○ ○ ○ ○
易	○ ○ ○ ○ ○

管理	
要	○ ○ ○ ○ ○
軽	○ ○ ○ ○ ○
要	○ ○ ○ ○ ○
剪	○ ○ ○ ○ ○
刈	○ ○ ○ ○ ○
理	○ ○ ○ ○ ○
担	○ ○ ○ ○ ○
定	○ ○ ○ ○ ○

ご利用方法
ご利用上の注意

植栽計画時、提案時に全体をコピーしてご利用ください。
写真単独のコピーおよび部分的なデータの転用は禁止します。

株式会社ユニマトリック